

市長会へ要望書を提出

11月5日、佐久間会長は、三重県市長会(大口秀和会長)を訪問し、10月26日に開催した三重県中小企業団体中央会創立60周年記念大会で決議された要望事項のうち、「市」向けの7項目について要望書を提出しました。要望事項は、次のとおりです。

1. 官公需適格組合及び地元中小企業に対する官公需施策の拡充・強化
2. 三重の木の需要拡大支援策の継続・拡充
3. 地籍調査の迅速な推進
4. 商店街活性化への支援
5. 街路灯等の固定資産税の非課税化
6. 育児支援策の充実・強化
7. 商店街振興組合制度の改善



佐久間会長(左) 大口会長(右)

HOTOPICS 4

鈴木知事へ要望書を提出



12月7日、佐久間会長をはじめとする理事全員で組織する決議実行委員21名が、鈴木三重県知事を訪ね要望書を提出しました。

佐久間会長が、三重県中小企業団体中央会創立60周年記念大会で決議された35項目のうち、特に重点項目として[中小企業施策の推進並びに予算の充実・強化]、[インバウンド受入環境の整備]、[官公需適格組合及び地元中小企業に対する官公需施策の拡充・強化]、[マイナンバー制度に係る事業者への周知徹底等]、[商店街活性化への支援]、[経営者保証ガイドラインの周知徹底等]、[育児支援策の充実・強化]、[障がい者雇用支援策の充実等]について要望しました。

HOTOPICS 5

「人材育成塾」を開催しました

11月2日、四日市大学で地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業「人材育成塾(第3回)」を開催し、当中央会の副会長であるICD Aホールディングス株式会社 代表取締役 向井 弘光 氏が講師を務め、「企業が求める幹部候補生について」をテーマに講演しました。

向井氏は、少子化、高齢化、高度情報化、環境資源問題等の社会の状況と、ものづくりの基盤にソフトやシステムを組み合わせることで新たな付加価値が生まれ、日本企業の強みになっていること等を話し、また、これから就職する学生にとって、仕事に就ける能力の醸成や、意思決定能力、将来設計能力、コミュニケーション能力、情報活用能力が必要であり、キャリア教育を通じて常に夢を持ち、目標を立てて、それを達成していくことを追求することが重要であると述べました。



向井講師